
「人」を知りBRICsを知る

- 日本との比較から -

2005年6月

ボーダーゼロ

はじめに

- BRICsと称される市場(ブラジル(B)、ロシア(R)、インド(I)、中国(C)の各頭文字をとったもの)は今後の経済的プレゼンスが拡大する期待されていることから注目されるようになって久しい。Goldman Sachsが発表したレポートによると、今後40年の間に、BRICs4カ国を合わせた経済力はG6(日本、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア)を合計したものよりも大きくなると予測されている(※ 出所)。
- 日本企業は新たな市場の獲得を目指し、中国をはじめBRICs諸国へ続々と進出している。
- 本稿では経済活動において重要なファクターとして位置づける「人」に焦点をあて、各BRICs諸国の特徴を把握することを目的とする。

出所: Goldman Sachs “DreamingWith BRICs: The Path to 2050” 2003

日本とBRICsの基礎データ

	日本	ブラジル(B)	ロシア(R)	インド(I)	中国(C)	出所
国名(日本語)	日本国	ブラジル連邦共和国	ロシア連邦	インド	中華人民共和国	-
国名(英語)	Japan	Federative Republic of Brazil	Russian Federation	India	People's Republic of China	-
首都	東京	ブラジリア	モスクワ	デリー	北京	-
国土面積 (1,000km ²)	377,880	8,514,047	17,075,400	3,287,263	9,596,961	①
人口 (1,000人)	128,084	186,405	143,201	1,103,371	1,315,844	②
主要言語	日本語	ポルトガル語	ロシア語、他に各民族語	ヒンディー語、英語、ほか憲法公認語17	中国語	③
民族(割合)	日本、アイヌ、韓国・朝鮮、中国など	白人(54%)、混血(40%)、黒人(5%)、アジア(1%)、先住民	ロシア人(82%)	アーリア系(72%)、ドラビダ系(25%)	漢(91%)	④
宗教(比率)	仏(大乘)、神道、キリスト教など	カトリック(90%)、伝統宗教等	主にロシア正教、回教、仏教、旧教	ヒンズー教(83%)、回教(11%)、キリスト教(3%)	仏教、道教、回教、ラマ教、キリスト教	

出所:①:United Nations, Demographic Yearbook 2001 ②:United Nations, Social Indicators, Population

③:外務省「世界の国一覧」 ④:共同通信「世界年鑑2004」

Copyright ©2005-. Border Zero All rights reserved.

日本とBRICsの経済関連データ

	日本	ブラジル(B)	ロシア(R)	インド(I)	中国(C)	出所
国内総生産 (100万ドル、名目 GDP、2003年)	4,302,557	492,338	432,849	595,108	1,412,323	①
1人あたり総生 産(ドル、名目 GDP、2003年)	33,727	2,759	3,022	559	1,083	
輸入額(100万ド ル、2003年)	383,085	50,665	52,499	71,240	412,052	②
輸出額 (100万ドル、 2003年)	471,999	73,084	126,048	57,081	437,899	
日本のBRICs からの輸入額 (100万円、 2003年)	-	333,335	490,216	252,133	8,731,139	
日本のBRICs への輸出額 (100万円、 2003年)	-	217,338	203,995	276,340	6,635,482	

出所:①: International Financial Statistics 2004

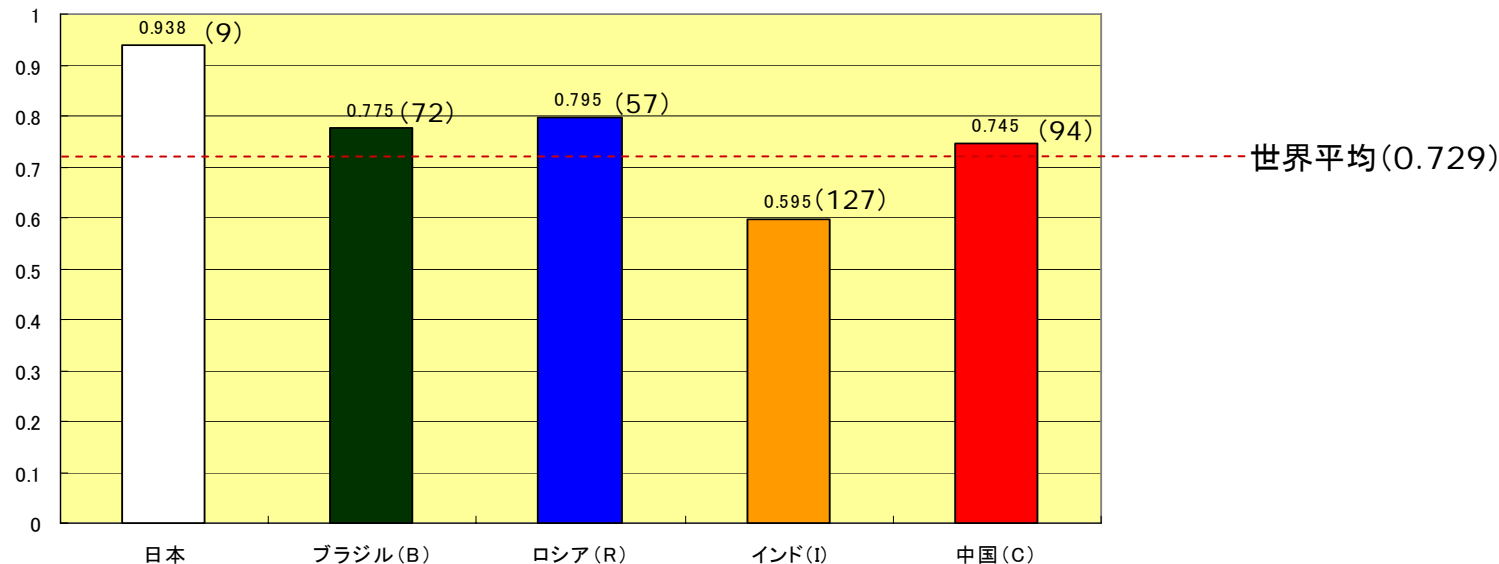
②: 総務省統計局「世界の統計」

日本とBRICsの比較：人間開発指数

- 日本およびBRICs諸国の中でインドの人間開発指数が最も低く、世界平均をも下回っている。
- BRICsの中ではロシアの人間開発指数がもっとも高い。
- 日本の人間開発指数はBRICs最高のロシアよりも約0.1高い。

日本・BRICsの人間開発指数

単位：指数(順位)

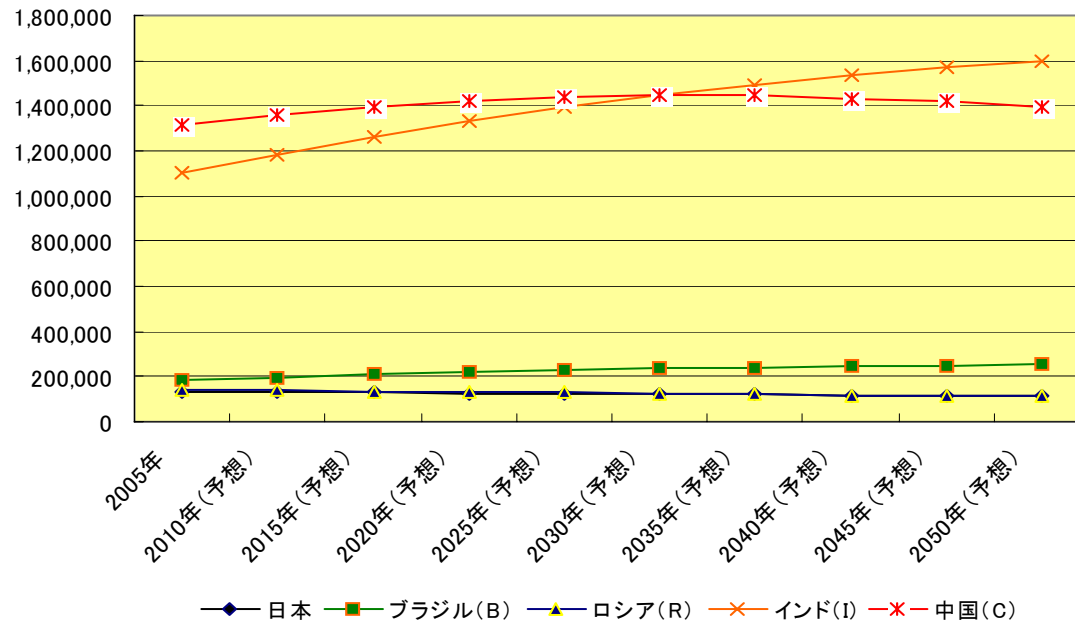


出所：United Nations Development ProgrammeのHP(http://hdr.undp.org/statistics/data/indic/indic_8_1_1.html)よりボーダーゼロ作成

日本とBRICsの人口比較:人口推移

- 中国とインドの人口はBRICsのロシア、ブラジルと比較して突出して多い。
- インドの人口は2030年を前に中国を抜いてBRICsだけでなく世界最大になると予想されている。

単位: 1,000人 日本・BRICsの人口推移



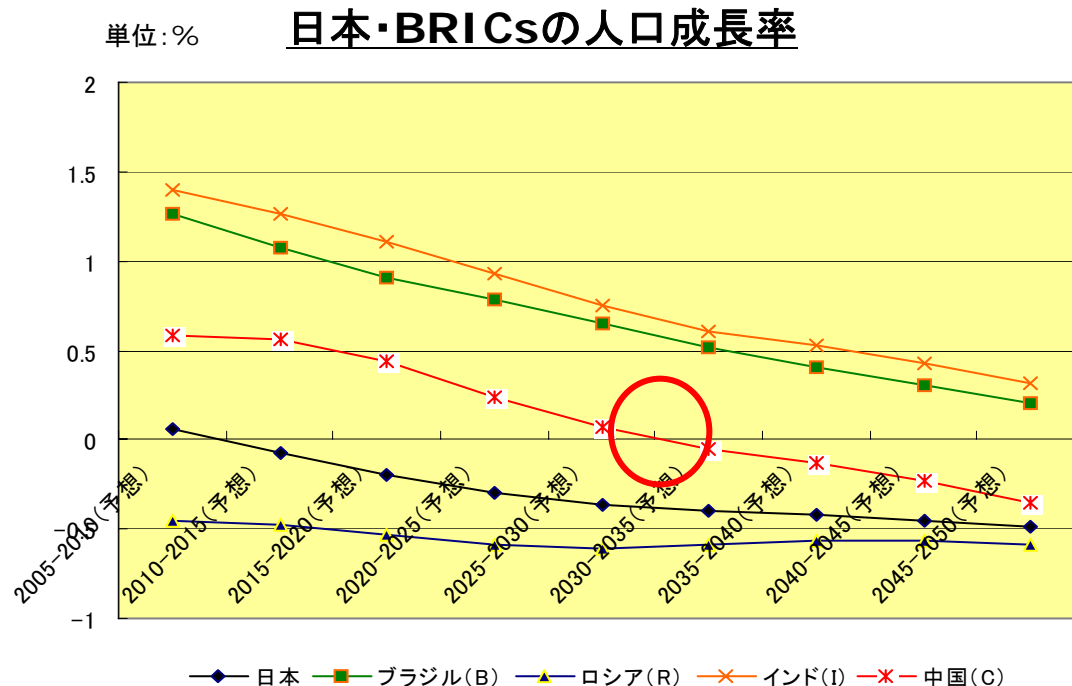
【その他特徴】

- ロシアは日本とほぼ同じように減少傾向をたどると予想されている。
- 中国、ブラジル、ロシアにはインドほどの大きな人口変動は見られない。

出所: United Nations "World Population Prospect 2004" (<http://esa.un.org/unpp>)よりボーダーゼロ作成

日本とBRICsの人口比較：人口成長率

- ロシアは既に人口成長率がマイナスに転じている、中国も2030年までにマイナスへ転じるなど(下図赤丸)、日本およびBRICs諸国の人口成長率は鈍化する模様。
- BRICs諸国の中でインドとブラジルは2050年までに人口成長が継続して増大する。



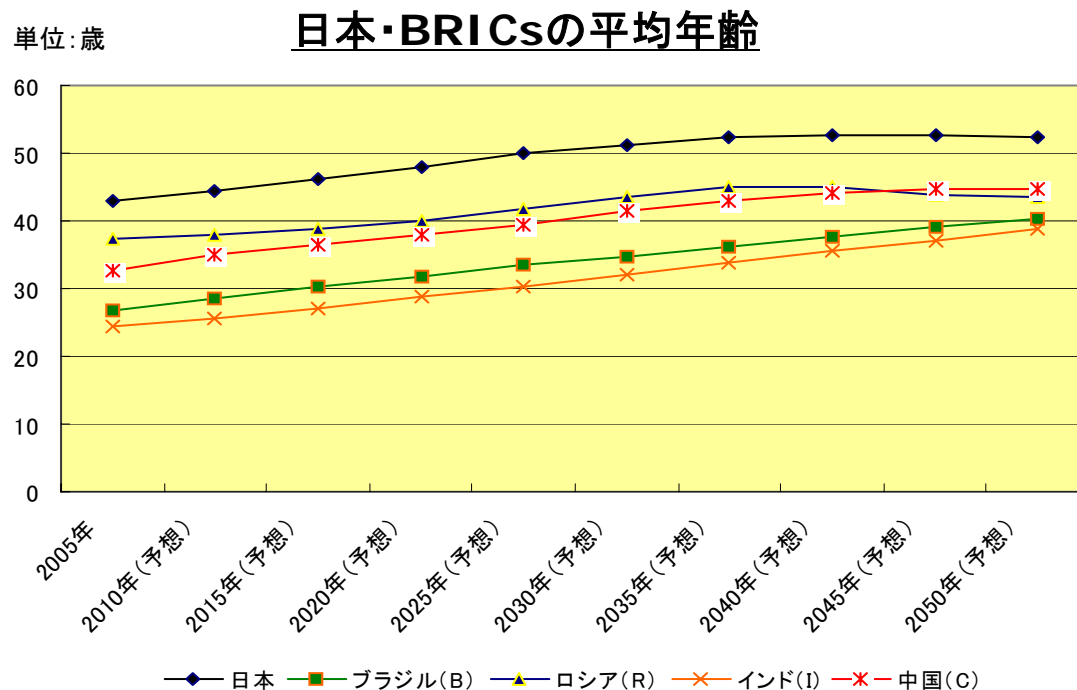
【その他特徴】

- 日本は2010年までに人口成長率はマイナスへ転じる。

出所：United Nations "World Population Prospect 2004" (<http://esa.un.org/unpp>)よりボーダーゼロ作成

日本とBRICsの人口比較：平均年齢

- 日本およびBRICs諸国の中でインドの平均年齢が2050年まで一貫して最も低く、この予想からも若い労働力を期待して多くの企業がインドへ進出していることがわかる。
- BRICs諸国の平均年齢が上昇する中、日本だけ50歳を越えるなど高齢化が際立っている。



【その他特徴】

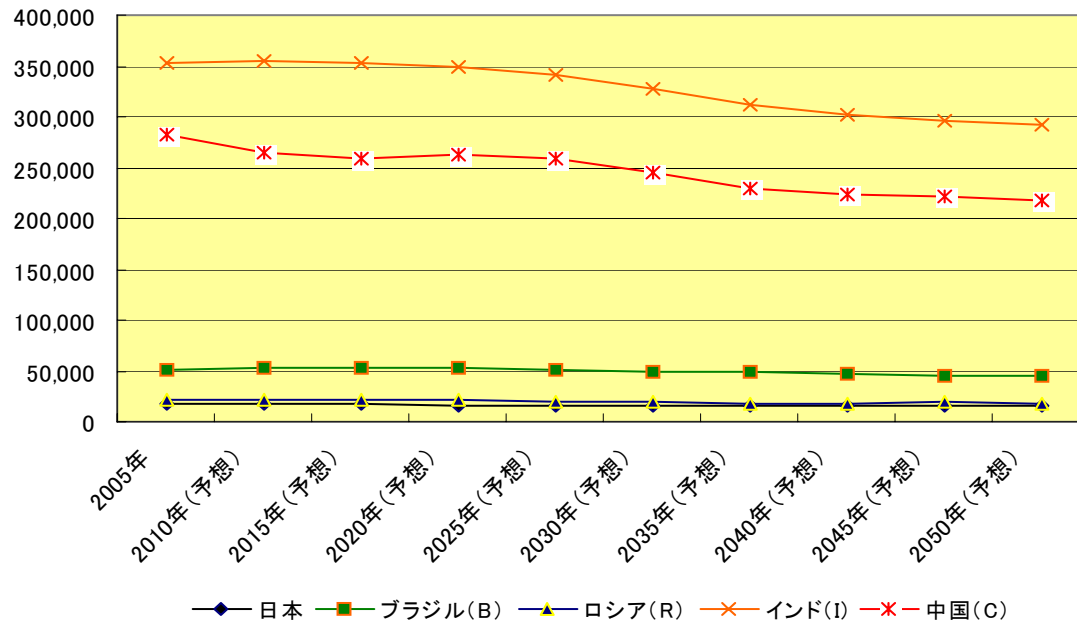
- 日本の平均年齢は2035年でピーク(53歳前後)に達しその後は横ばいで推移する模様。
- ロシア、中国の平均年齢はともに45歳前後をピークに推移する模様。

出所：United Nations "World Population Prospect 2004" (<http://esa.un.org/unpp>)よりボーダーゼロ作成

日本とBRICsの人口比較：15歳未満人口の推移

- 日本およびBRICs諸国の15歳未満人口は減少傾向に向くと予想されている。
- 人口の増加が期待される中国およびインドにおける15歳未満の人口減少は際立っており、それぞれ2005年から2050年までに5億人前後が減少すると予想されている。

単位：1,000人 **日本・BRICsの15歳未満人口の推移**



【その他特徴】

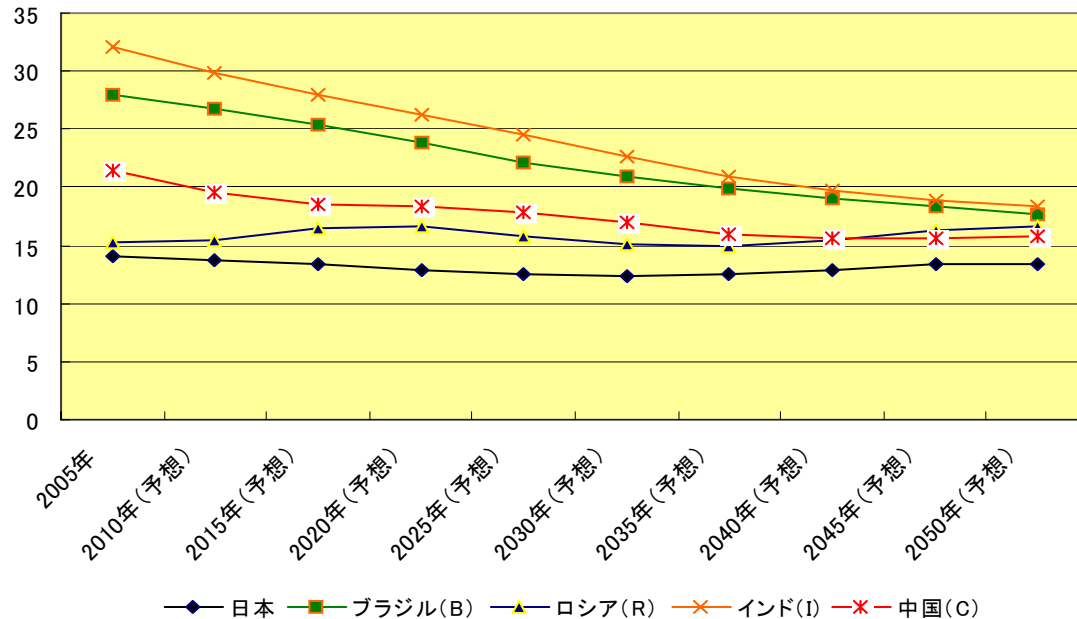
- 日本の15歳未満人口は2050年までほぼ横ばいで推移する模様。
- 中国、インドともに横ばい→減少→横ばいと人口減少の波が生じる模様。

出所：United Nations "World Population Prospect 2004" (<http://esa.un.org/unpp>)よりボーダーゼロ作成

日本とBRICsの人口比較：15歳未満人口比率の推移

- 日本およびBRICs諸国は、2050年までに15歳未満人口の比率が15-20%の間に集束する。
- 日本およびBRICs諸国間での15歳未満人口比率の順位はインドの最高をはじめほぼ変動しない。

単位：％ **日本・BRICsの15歳未満人口比率の推移**



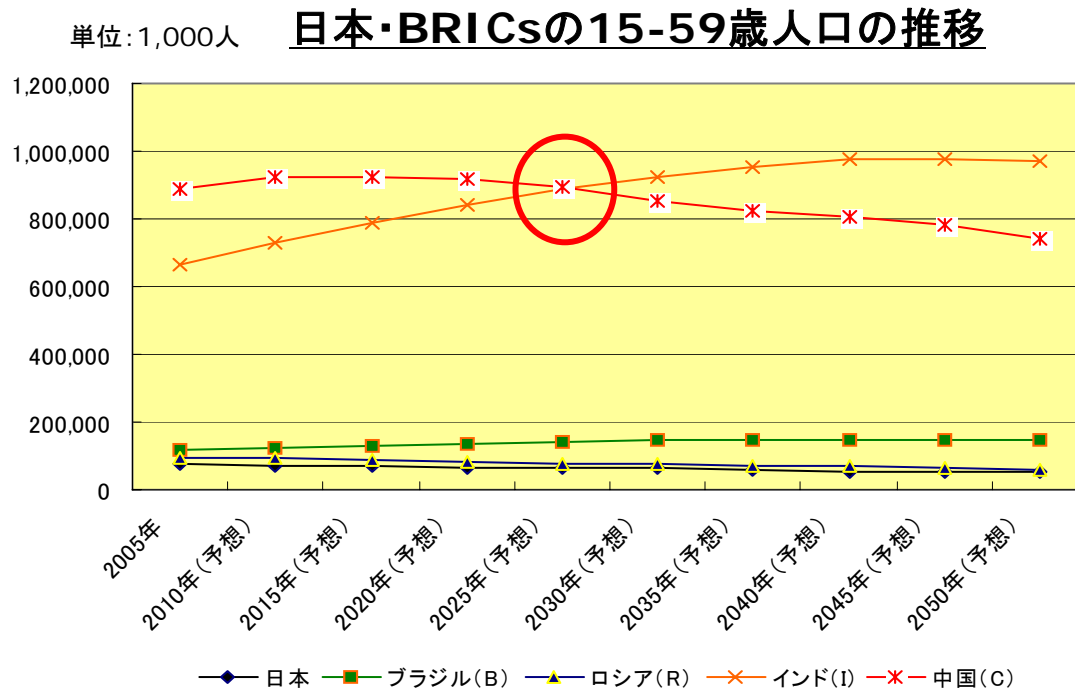
【その他特徴】

- 日本は比較対象国の間では2050年まで一貫して最低の15歳未満人口比率を示す模様。
- 2005年に最高のインドと最低の日本の間で20%弱の差がある15歳未満比率は、2050年においてわずか5%弱まで縮小する。

出所：United Nations "World Population Prospect 2004" (<http://esa.un.org/unpp>)よりボーダーゼロ作成

日本とBRICsの人口比較：15歳-59歳人口の推移

- インドの15-59歳人口が継続して増加し(2005年から2050年までに約3億人増加)、中国と2025年前後で逆転する見込み(下図赤丸)。
- 中国は2050年までに1.5億人減少する。



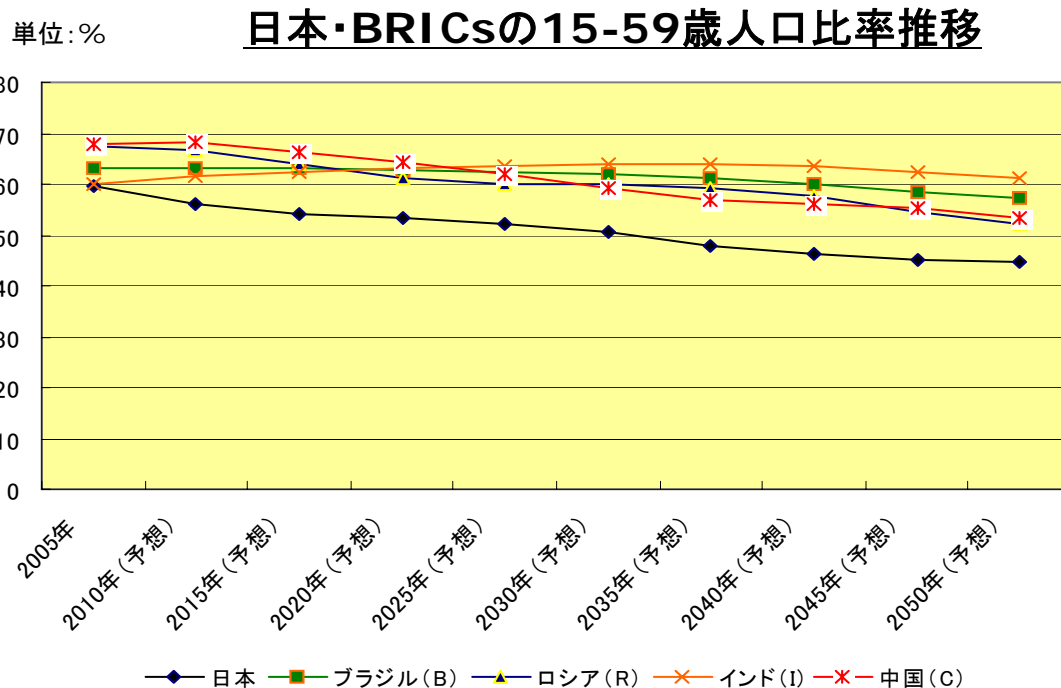
【その他特徴】

- 日本の15-59歳人口は微減する。
- インドのほか、ブラジルも15-59歳人口が増加。

出所: United Nations "World Population Prospect 2004" (<http://esa.un.org/unpp>)よりボーダーゼロ作成

日本とBRICsの人口比較：15歳-59歳人口比率の推移

- インドを除く比較対象国において、15-59歳人口比率は増大することなく横ばいもしくは減少する見込みである。
- インドの15-59歳人口比率は2050年まで唯一増大する。



【その他特徴】

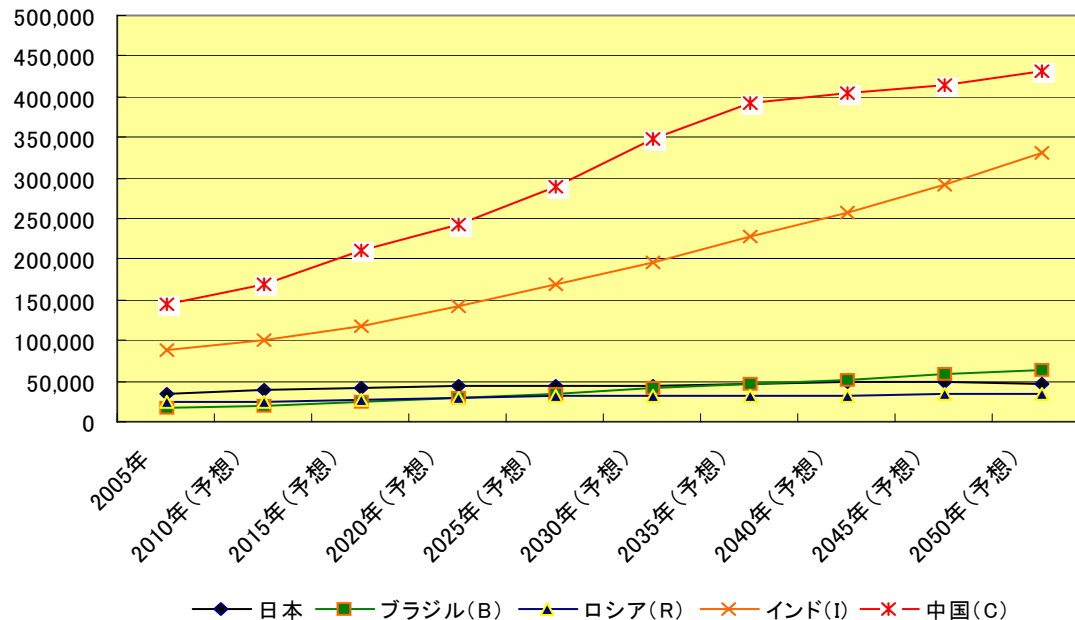
- 日本の15-59歳人口比率は約15%下落。
- 2005年に最も比率の高い中国は、2050年までの間に約15%下落してBRICsの中でロシアに次ぐ低さを記録する見込み。

出所：United Nations "World Population Prospect 2004" (<http://esa.un.org/unpp>)よりボーダーゼロ作成

日本とBRICsの人口比較：60歳以上人口の推移

- 中国、インドともに60歳以上の人口が2050年までに2.5億人ほど急増する。
- そのほかの国々も同世代の人口は増加し、世界的に高齢化社会を迎える。

単位：1,000人 **日本・BRICsの60歳以上人口の推移**



【その他特徴】

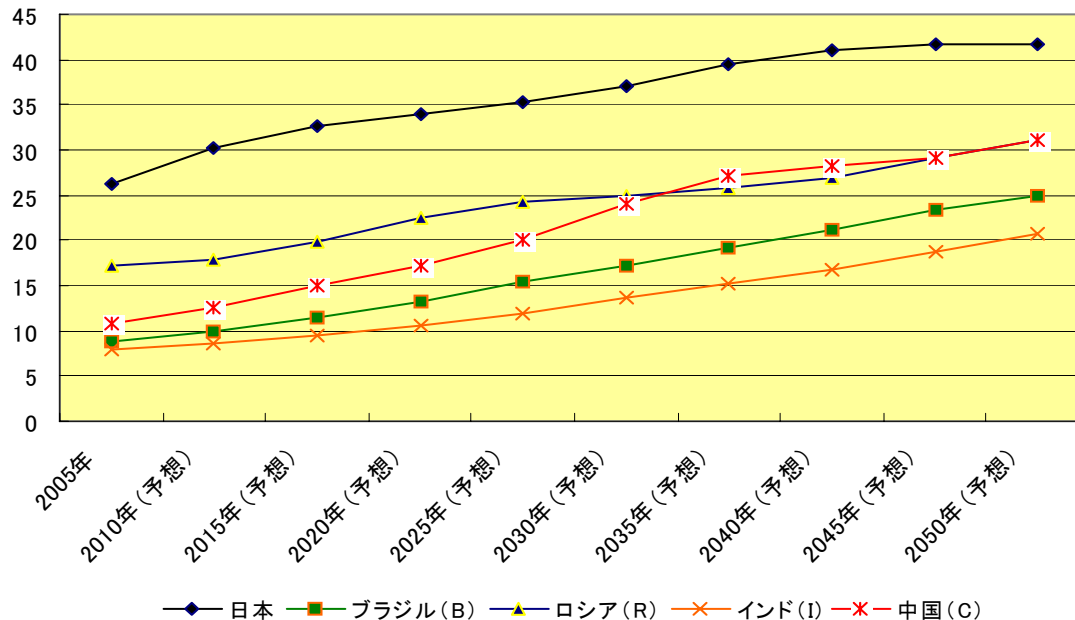
- 日本の60歳以上人口は2040年にピークを迎える。
- ブラジルの60歳以上人口の伸び率(約3.8倍)はインドと並び最も高い。

出所：United Nations "World Population Prospect 2004" (<http://esa.un.org/unpp>)よりボーダーゼロ作成

日本とBRICsの人口比較：60歳以上人口比率の推移

- 日本の60歳以上人口比率が比較対象国の間で最も高く、2050年までに15%ほど上昇する(40%強へ)。
- 日本以外のBRICs諸国も60歳以上人口の比率が10%以上上昇する見込みであり、高齢化が加速することがみてとれる。

単位：% **日本・BRICsの60歳以上人口比率の推移**



【その他特徴】

- 日本はBRICs諸国と比較して2005年から2050年まで常に60歳以上人口比率が10%以上高い。
- 中国は2005年から2050年までの間、比較対象国の間で高齢化が最も進展する。

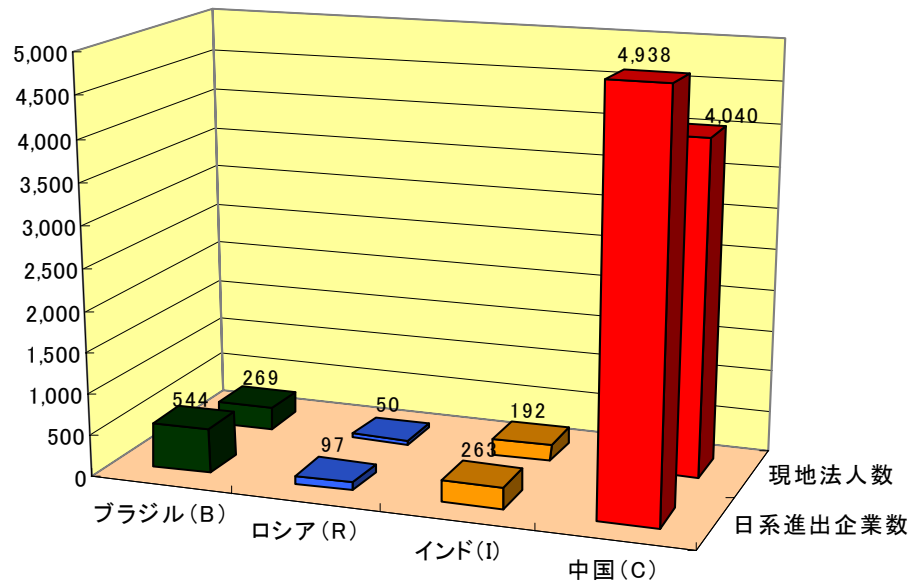
出所：United Nations "World Population Prospect 2004" (<http://esa.un.org/unpp>)よりボーダーゼロ作成

日本とBRICsの企業進出実態：日本企業の進出状況

- BRICs諸国の中で最も多く日本企業が進出している、現地法人数が営業している国は中国である。
- オフショア開発などで欧米から注目されているインドはブラジルよりも少なく、BRICsの中で進出企業数3位につけている。

単位：社

日本企業のBRICsへの進出状況



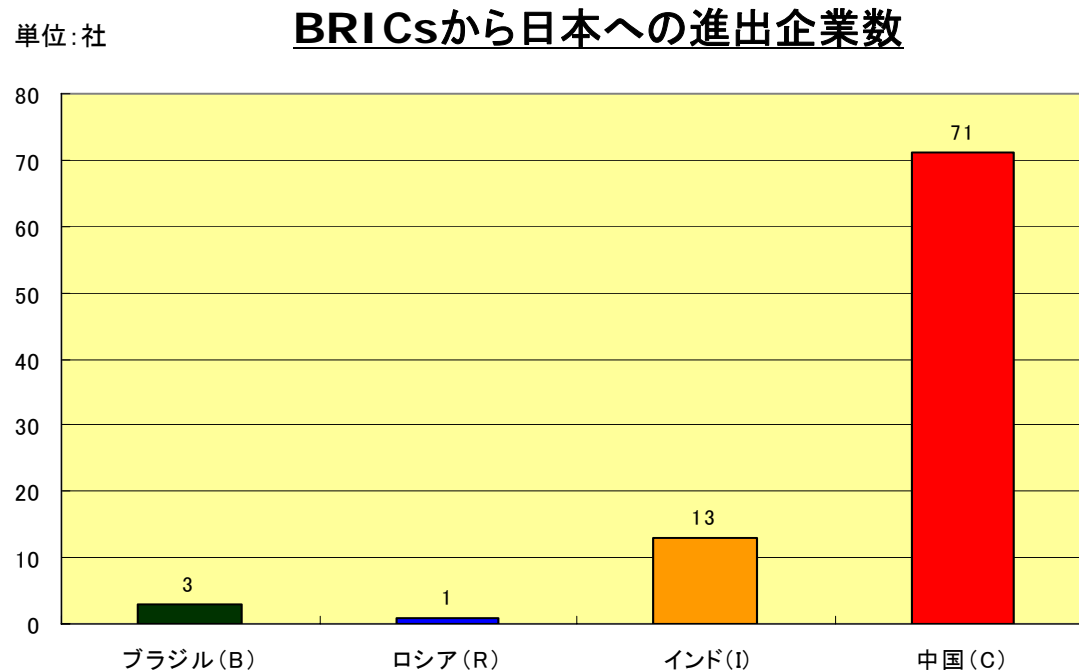
【その他特徴】

- 隣国にあたるロシアへの進出企業数はBRICsの中で最も少ない。

出所：東洋経済新報社「海外進出企業総覧」2005 よりボーダーゼロ作成

日本とBRICsの企業進出実態：日本への進出企業数

- 中国からの進出企業が最も多く、2位のインドの4倍にも及ぶ。
- 日本からの進出企業数と比較して、日本への進出企業数はいずれの国においても少ない。



【その他特徴】

- ブラジル、ロシアからの進出は活発ではなく(ともに1桁)、日本企業が進出している数と大きなミスマッチが生じている。

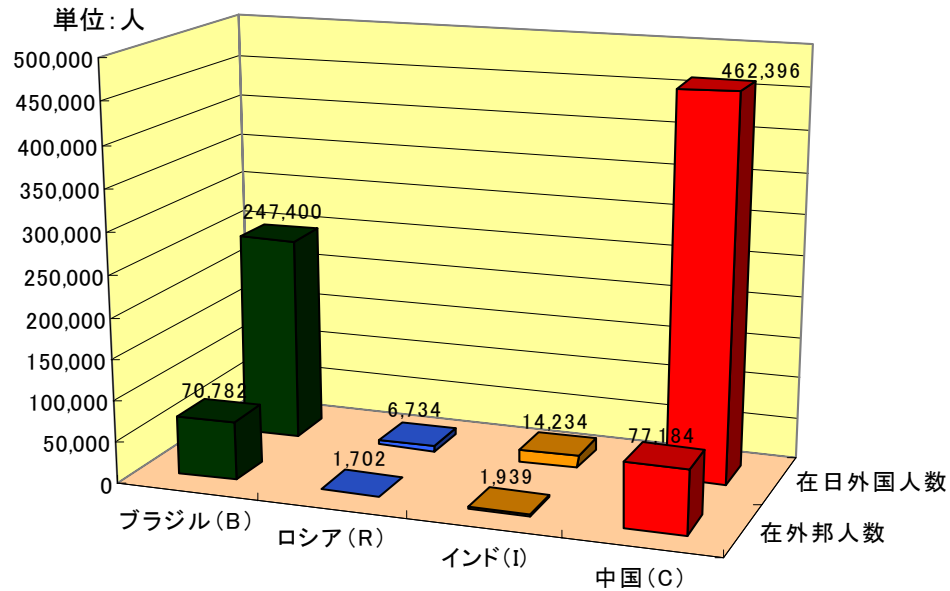
※「進出企業」は「外資系企業総覧」の定義(資本金5,000万円以上かつ外資比率が49%以上の企業)に基づく

出所：東洋経済新報社「外資系企業総覧」2005 よりボーダーゼロ作成

日本とBRICs諸国の人的交流：在日・在外人数比較

- 比較対象国全てにおいて、在外邦人数よりも在日外国人数のほうが多い。
- 中国からの在日者が最も多く、その数は約50万人に及ぶ。

BRICsの邦人、BRICsからの在日外国人数



【その他特徴】

- ブラジルとは日系人の存在などの関係から人的交流が活発と推測できる。

出所：外務省「海外在留邦人数調査統計」2004

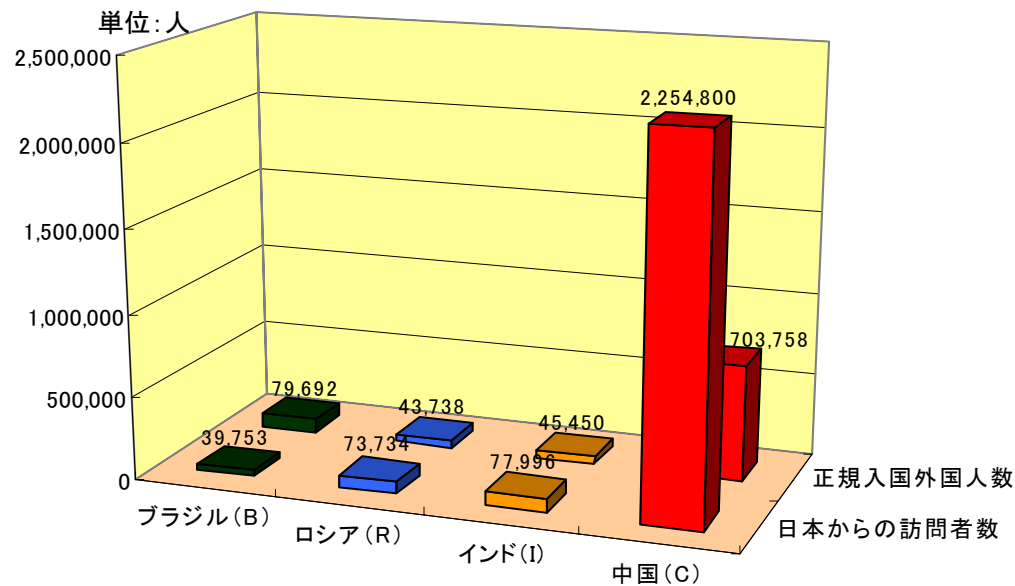
財団法人入管協会「在留外国人統計」2004 よりボーダーゼロ作成

Copyright ©2005-. Border Zero All rights reserved.

日本とBRICs諸国の人的交流：日本への出入国数比較

- 中国との人的交流が最も活発であり、日本からの訪中者は年間約220万人にのぼる。
- 中国以外のBRICs諸国とは10万人を超える程度の交流しか行われていない。

日本・BRICsの入国・出国者数



【その他特徴】

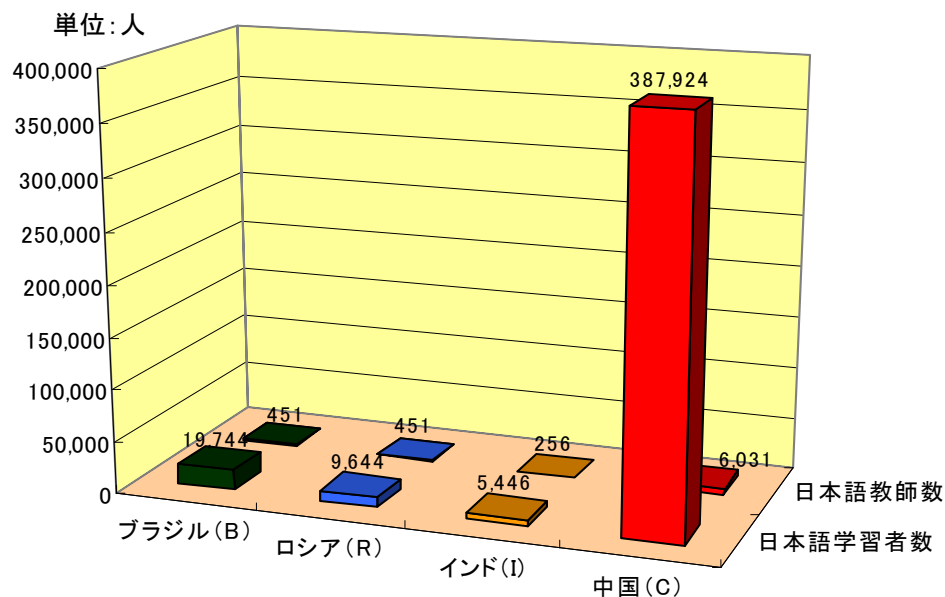
- 中国以外のBRICs諸国からの入国者はいずれも10万人に満たず非常に少ない。
- ブラジルのみが、入国者数のほうが日本からの訪問者数よりも多い。

出所：国際観光振興機構「訪日外客数・出国日本人数」2004 よりボーダーゼロ作成

BRICs諸国での日本語教育：日本語学習者・教師数

- BRICsの中で中国での日本語学習者・教師数が最も多い(40万人弱/1万人弱)。
- 2番目に多いブラジルにおいても日本語学習者数は2万人に届かず、BRICsでの日本語学習は決して活発とはいえない。
- 全ての比較対象国において、日本語教師の数は決して多いとはいえない。

BRICsでの日本語学習者数



出所：国際交流基金『海外の日本語教育の現状－日本語教育機関調査・2003年－(概要版)』よりボーダーゼロ作成

BRI Cs諸国の特徴

ブラジル(B)

- 若年人口が多く、潜在的な市場成長性は大いに期待できる。
- 日本語学習者が中国について多い。
- 在日ブラジル人が約27万人と日本・ブラジルとの関係強化に活用できる可能性が高い。

ロシア(R)

- BRICsの中で唯一人口が減少し、新たな消費者の掘り起こしという観点から魅力に欠ける。
- 人間開発指数がBRICsの中で最も高い。

インド(I)

- 2025年頃に中国を抜いて人口最大の国となる。
- BRICsの中で平均年齢が最も低く、将来にわたって労働力が大変豊富。
- 人間開発指数が世界平均を下回るなど、改善すべき課題は多い。

中国(C)

- BRICsの中で人口そして日本語を話す人が多いなど日本にとって魅力的。
- 多くの日本企業が進出しているため、競合他社との差別化が図りにくい

ボーダーゼロとは

【ボーダーゼロとは】

国境・業界といった垣根にとらわれない自由な発想を持つ、ビジネス・リーダーのためのブレン・スパーリングパートナーです。

【ボーダーゼロのサービス】

経営コンサルティング事業

- ・事業戦略
- ・ブランド・マーケティング戦略 など

ilmil いるみる事業 (<http://www.ilmil.jp>)

【ボーダーゼロ概要】

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3丁目21番
ちよだプラットフォームスクウェア1034
TEL: 03-3777-5805
URL: <http://www.borderzero.com>
email: post@borderzero.com

